

科目ナンバリング		G-LAS00 80005 LJ44					
授業科目名 <英訳>	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship			担当者所属 職名・氏名	成長戦略本部 特任教授 木谷 哲夫		
群	大学院共通科目群		分野(分類)	社会適合		使用言語	日本語
旧群		単位数	0.5単位	時間数	7.5時間	授業形態	講義(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中		曜時限	集中 9月7日(月)、9 月14日(月)3, 4限	配当学年	大学院生	対象学生 全学向
<b>【授業の概要・目的】</b>							
<p>専門分野についての高度な知識を持つ大学院生にとって、社会における研究成果の普及、企業という形態を活用した価値創出について、幅広い理解が欠かせない時代となっている。</p> <p>アントレプレナーシップの定義は “ The pursuit of opportunity beyond the resources you currently control ” ( 現在所持する資源を超えた機会を追求すること ) とされ、アントレプレナ にとって必要なスキルとしてはOpportunity Recognition ( 事業機会の特定 ) とResource Acquisition ( 資源の調達 ) が重要となる。</p> <p>本授業では、ビジネスの予備知識の無い大学院生が基本から学ぶことを念頭に、イノベーションにおけるアントレプレナーの役割や意義、キャズムやエコシステムなどの基礎概念、社会の多くの分野で急速に進展しつつあるイノベーションの可能性、事業機会の特定方法(事業のビジョンやアイデア)から資金調達までのプロセス、等について解説し、起業に関する基礎概念とそのプロセスについて包括的な全体像を把握することを目指す。</p>							
<b>【到達目標】</b>							
<p>本授業では、イノベーションにおけるアントレプレナーの役割や意義、社会のあらゆる分野での技術イノベーションの進化の動向や可能性、スタートアップのプロセス(事業機会の特定、ビジネスモデル、資金調達、等)に関して解説し、高度な専門的知識を有する人材が持つべきアントレプレナーシップについての包括的な基礎理解を得ることを目的としている。</p>							
<b>【授業計画と内容】</b>							
<p>以下の8つのトピックについて、90分×4回の授業でカバーする。</p> <p>9月7日(月)3, 4限(1, 2回)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イノベーションとアントレプレナーシップ</li> <li>2. キャズム、破壊的イノベーション</li> <li>3. イノベーションのエコシステム</li> <li>4. デジタル情報の時代</li> </ol> <p>9月14日(月)3, 4限(3, 4回)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. エクスポネンシャルテクノロジー</li> <li>6. 起業のプロセス、アイデア創出</li> <li>7. ビジネスモデルと仮説検証</li> <li>8. スタートアップの資金調達</li> </ol> <p>必要に応じてケーススタディ等を行う</p>							
----- アントレプレナーシップ入門(2)へ続く -----							

## アントレプレナーシップ入門(2)

### [履修要件]

特になし

### [成績評価の方法・観点]

以下の割合で採点する

レポート 60%

授業への貢献（発言、出席）40%

### [教科書]

未定

### [参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

（関連URL）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>(関連プログラム他)

### [授業外学修（予習・復習）等]

特になし

### [その他（オフィスアワー等）]

関連科目

大学院共通科目

「アントレプレナーシップ演習」（下期）

実践的な課外科目

「イノベーション事業化コース」（下期）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>

本科目は大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ受講することも可能です。

### [主要授業科目（学部・学科名）]